

## 令和8年度都立荻窪高校における教科指導の重点

教科名	重点課題	取組	発展的取組
国語	わかる・味わう・深まる授業の構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各回の授業で、わかりやすい授業をできるような研修会や授業の相互参観を実施</li> <li>・「古典」ではその時代特有の心情や情景を想像でき、味わうことを重視する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部のコンテストへの応募</li> <li>・オンライン活用時の「話し合うこと」についての指導方法の開発</li> </ul>
地理歴史	生徒の「わかる」を多面的に支援する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オリジナルのワークシートを教材として準備する</li> <li>・生徒アンケートで生徒意見を集約して授業に反映させる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理解を支援するためパワーポイントで資料を提示するなどICTの活用に積極的に取組む</li> <li>・映像資料や専門書などを含め、幅広く有効な史資料を活用する</li> </ul>
公民	生徒の「わかる」を多面的に支援する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マイノート・演習ノートを教材として使用する</li> <li>・PPで教材を作成し、配信し、復習できるようにする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理解を支援するためパワーポイントで資料を提示するなどICTの活用に積極的に取組む</li> <li>・映像資料や専門書などを含め、幅広く有効な史資料を活用する</li> <li>・自分で課題を作成し発表できるようにする</li> </ul>
数学	基礎的、基本的な知識、技能を確実に身に付ける	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校数学の内容との関連などを考慮し、基本的な計算力を重視したボリュームで扱う</li> <li>・安心して取り組める授業の雰囲気作りをする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数学的な思考力・表現力を育て、学ぶ意欲を高めるようにする</li> <li>・実生活と関連付けたり、学習した内容を発展させ問題を扱う</li> </ul>
理科	理解しやすい授業の構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各回の授業で、わかりやすい授業をできるような研修会や授業の相互参観を実施</li> <li>・「物理」「化学」「生物」の授業で、取り組みやすい探究的学習の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各回の授業で、わかりやすい授業をできるよう、東京都の研修に参加</li> <li>・「物理」「化学」「生物」の授業で、高大連携を実施</li> </ul>

## 令和8年度都立荻窪高校における教科指導の重点

教科名	重点課題	取組	発展的取組
英語	英語でのコミュニケーションを軸とした「わかる授業」の構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校の基礎から無理なく学べる教材の選定</li> <li>・身近な話題を取り上げた発表活動の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学期に1回、1人一台端末を使用したプレゼンテーション活動を実施</li> </ul>
情報	「わかる」「できた」を多く体験させ、情報化社会に対応できる人材を育成する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タイピング速度精度の向上、オフィスソフトウェアの活用法、コンピュータの仕組みの理解、他者の権利の尊重など、生徒にとって身近なことを授業で取り上げ、理解が不足している生徒は長期休業等を活用し、「わかる」「できる」を多く体験させる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報化社会に対応する力の醸成、理解の早い生徒や学習意欲が高い生徒には各種検定を勧めるなど、生徒の自信を更に高め、実績の積み重ねを促していく</li> </ul>
商業	商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な資質・能力を育成することを目指す	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビジネスの諸問題の解決方法について学習した知識を活用して適切に判断し、創意工夫する能力を身に付ける</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビジネスに対する望ましい心構えや実践的な態度を身に付けるとともに、自己実現に向けて意欲を持つようになる</li> </ul>
総合的な探究の時間	自分を知る	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「人間と社会」テキストを活用しながら、話し合い等で内容を深め、ワークシートへのまとめや発表活動をする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校外学習・震災訓練・清掃活動など体験をもとに、自分自身や他者への理解を深める</li> </ul>
	他者との協働	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リクルート社の「探究活動プログラム」を活用しながら、生徒同士の協働を通して、課題設定、情報の収集、調査・分析、表現活動のプロセスを身に付ける</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・探究学習に取り組む学年として、主に進路や社会課題への調査、分析、まとめ作業をグループワーク等を通して行い、他者との協働の意義を考える</li> </ul>
	進路の決定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リクルート社の「探究活動プログラム」を活用しながら、生徒同士の協働を通して、課題設定、情報の収集、調査・分析、表現活動のプロセスを完成させるとともに、進路活動に活かし、希望進路を決定する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・探究学習の仕上げの学年として、主に進路や社会課題についての講演を聞き、調査、分析、まとめ作業をグループワーク等で行う</li> <li>・職業生活や社会とのつながりについて考えを深めるとともに、適切に表現する</li> </ul>
	進路の実現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リクルート社の「探究活動プログラム」を活用しながら、生徒同士の協働を通して、課題設定、情報の収集、調査・分析、表現活動のプロセスを次年度に継承するとともに、そのスキルを進路活動に活かし、希望進路を実現する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・探究学習の仕上げの学年として、主に進路や社会課題についての講演を聞き、調査、分析、まとめ作業をグループワーク等で行う</li> <li>・職業生活や社会とのつながりについて考えを深めるとともに、適切に表現する</li> </ul>
アニメーション	各課題への取り組みとグループ制作	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題の提出期限を遵守させる（Teams等で週に1度通知）</li> <li>・演習時間の確保と放課後等における作業環境の提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Teamsを活用した課題制作の質疑応答、作品へのアドバイスと技術指導</li> </ul>
演劇入門	演劇の基礎を利用して、「自己表現能力」を楽しく自然に養う	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発音・発声・効果的な表現を育みながら、心はもちろん「声・顔・姿」が魅力的な人間に成長させる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内向的な人には大きな表現をすることの楽しさを、外向的な人には他人から信じてもらえる話し方を習得する</li> </ul>
茶道	茶道を通して、人間関係の大切さを学ぶとともに、社会生活を営んでいく上でのルールやマナーを身に着ける	<ul style="list-style-type: none"> <li>・茶道の基礎知識を学ぶとともに、作法振る舞いを身に着ける</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・茶席における心得とともに立ち居振る舞いを身に着ける</li> </ul>
日本文化	理解しやすい「和の心」の構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各回の授業で、わかりやすい授業ができるような研修会や授業の相互参観を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・流派に即した、茶道への理解、日本文化への理解を深める</li> </ul>